

Mランドニュース Vol.112

丹波ささ山校 平成28年7月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》

びさ きんさ
微差、僅差の積み重ねが、
大差となる。

鍵山 秀三郎氏

一〇〇キロウォークで

六月十一日、十二日の両日Mランド益田校で「中国山脈横断一〇〇キロウォーク」が開催され、篠山より卒業生の岸本雄也様が六回目の参加をされました。

もとより過酷なこのイベントに、ゴミを拾いながら歩くという誰も考えつかない挑戦を、三回目からされている岸本様からコメントをいただきましたのでご紹介します。



さあ、100キロ目指してスタートです

○今回もゴミを拾いながら歩いていると、私のことを覚えていて話しかけてくれる人が何人もいて、仲良くくれた人も嬉しくなりました。
○苦しいときに先のことを考えると減入りそうになるけれど、目の前の一步一步に集中し、いざ終わってしまうと笑って話せるようになる。

○疲れたときは立ち止まって休んでもよい、諦めさえしなければ、ゆっくりでも歩き続けることで必ず成し遂げられる。



いつもマイペース

今回、私はスタッフとして参加しました。朝スタートし、昼・夕方・深夜・夜明け。そしてまた朝。参加者は一睡もせずスタート地点の広島県戸内とこうちからMランド益田校まで歩き続けます。

サポートしながらでも、一日がこんなに長かったことを知り、その中で岸本様のように参加者の方々はいろんな気付きや、自分発見をされました。

ゴールをされた皆さんの体から感じる達成感はいうにおよばず、「よつ葉のクローバーをたくさん見つけましたよ」と、笑顔でゴールされた岸本様の笑顔が心に残っています。

応援スタッフ 水越 健二

そうじの力

六月二十一日、「そうじのカプロジェクト」のリーダーを対象に研修会を開催しました。

各班、毎朝十分間で取り組んでいる一か月の活動状況を発表し、株式会社「そうじの力」小早祥一郎先生よりいただくアドバイスを共有しますが、今回は成果だけでなく、誰も気付かない館内での不具合を問題提議してくれたリーダーがありました。



この一か月間もがんばりました

いつもおなじ見方をしていると異変を異変と感じなくなり、やがて当たり前になっってしまうため、このプロジェクトは問題点に気付き、それをいつ、だれが、どうするかという問題解決力も大切な

目的のひとつであり、これが社員間のコミュニケーションを高めることにもなるのです。

つづいて小早先生から、ある工事現場の休憩場所の写真を見せていただき、そこから問題点と解決策を考えていきます。



みなさん、どう思われますか？

業種は違っても乱れる原因は、そこで働く人が好き勝手にしていることにより、乱れが徐々に常態化し、「これのどこがおかしいの」という感覚になってしまうことです。

そこで今月はルールを決めることにより、乱れが目瞭然で分かる環境づくりの大切さを教えていただきました。

後半は、小早先生と館内を見てまわる研修で、今月は「Mランド最後の砦」とも言われる、改善の手が入ら

なかった事務所エリアです。必然的に書類や物品が多いのも当然ですが、それを正當化し、何も改善してこなかったのも事実です。



事務所内の改善策を検討します

事務所の改善、方法は簡単でした。「やるか、やらないか」。「やるなら今でしょ」と、どこかで聞いたことば通り、その日から毎日少しずつ取りかかっています。



引き出しの中 (Before)



型枠で乱れようがありません

お帰りなさい

今年の五月二十六日に卒業された、奈良県在住の井上葉月様と、大阪府在住の古家天様が、六月十四日自ら自動車を運転し、Mランドに帰ってこられました。



今日もおそろいです！

滞在中は周りから「ツインズ」(双子)と言われるくらい、いつも一緒に服装も同じでした。朝のボランティアには毎朝参加され、お二人がいる場所はいつも明るく、賑やかな空気が流れていました。そんなお二人でしたから、教習チームから「教習ノート」のモデルや、営業チームからは広告のモデルとしてもお願いをしていました。

この日もお揃いの服装で「篠山に来たかったです！」とひょっこりお見えになり、スナップと思い出話しに花が咲きました。

中でも、自宅に帰ってトイレ掃除をすると「おおー！」とお母さんが驚いた話、滞在中の習慣で食事を三食摂るようになり、逆に体重が減ったことを楽しそうにお話されたのが印象的でした。また、「篠山という第二のふるさと」ができましたと嬉しいことばもいただきました。

通い慣れた「カフェ・ミロ」でもくつろがれ、この日は約三時間の滞在でしたが、篠山の空気を胸いっぱい吸い込んだお二人は、「来月もきますよ！」と笑顔で手を振り帰途につかれました。

「井上さん！古家さん！いつてらっしゃい！」
ライターチーム 前川 昂希

手話で歌う

六月も二回、篠山ろうあ協会 大内和彦様と臼井実加様に手話研修をお願いしました。

今月は二回にわたり、過去の復習と共に、「四季の歌」を手話でできるように教えていただきました。

「字」に象形文字があるように、手話もことばや形からあらわされていることを、あらためて歌を習うことで分かりました。

全員一通り覚えたのち、二グループに分かれての発表です。



さて、伝わるかな？

日本の名曲でとてもやさしい歌ですが、覚えてたての手話でとなると顔が強張り、動く手は決して優雅にはいきません。

しかし、手話の必要性を理解し、毎回自主的に参加する職員を心強く感じると共に、いつも熱心にご指導いただき大内様と、臼井様に感謝しています。

手話研修チーム 近藤 沙代

Mランドウォッチング

創られて五年の「三宝庵」は、当初より表千家 満仲 弘恵先生ご指導のもと、多

くの方に「お茶席」を体験していただいております。

少しでも美しい環境で、ゲストと共に床磨きもしばしば行なってきました。

また、現代的な建物に趣を和観葉植物や、大きな窓ガラスに筆箆を用いていますが、午後になると窓の上部から、お点前する人へ日が差し込み、「何とかならないでしょうか？」と相談がありました。という事で環境チームの出番。いくつかの案の中から、すだれを吊ることにしました。

その出来栄に満仲先生は「お茶席は少し暗い方が邪念を起しにくいですから、ほどよい明るさになりましたね」とお話しされました。



これからも親しまれるお茶席に

ちょっと涼しくなった「三宝庵」、毎週水曜日午前十時から午後三時まで、皆さまのお越しをお待ちしております。

第11回

Mランドフェスタ

11月13日(日)

開催予定

今月のありがとうカード

中野 聡 インストラクターへ

おかげさまで卒業検定に合格し、本日卒業します。路上教習では担当していただき、ありがとうございました。

中野さんの「安全運転にゴールなし」のことばが、強烈な印象に残っています。このことばを生涯忘れないで運転しつづけていこうと思います。二週間、本当にありがとうございました！

大江 未花子 様

編集後記

先日、無類の温泉好きの私は、家内とお気に入りのお馬の静かな日帰り温泉へ行ってきました。

「おつ、今日も車が少なく、ゆったり入れるな」と思いきや、浴場から聞こえるなんと賑やかな声。見ると部活の合宿とおぼしき方が二十人ばかり。騒がしい湯船に浸かり「今日は失敗したな」とあきらめモードでしたが、時間がきたのか三十分ほどで彼らは一斉に帰り、一転嘘のように静まり返りました。

驚いたのはそのあと。なんと洗い場の椅子と桶が整然と並べられていたのです。

「失敗」どころかその光景に胸が熱くなりました。

温泉から上がるとご主人が「賑やかで迷惑おかけしましたね」とお気遣いの声もかけてくださりました。

帰りの車中で彼らは、大阪の〇〇高校の吹奏楽部だったと、家内が教えてくれました。それはMランドにも来てくれる高校の名前でもありません。私には嬉しさに浸ってしまいました。(徹)